

様式第4号（第10条関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成29年度第4回西脇市環境審議会
開催日時	平成30年1月15日（月） 午後2時～午後3時50分
開催場所	西脇市役所2階 特別会議室
出席委員の氏名 又は人数	横山孝雄 小林拓郎 下中秀男 藤原孝三 久米敏正 内橋昌子 生田忠之 小田晴美 時政良光 笹倉克子 大崎夏子 森 一仁 北尾 進 藤原利昭
欠席委員の氏名 又は人数	大隅明文 城口孝子 岡本政和 佐之瀬敏章 築谷尚嗣
出席職員の職・ 氏名又は人数	（幹事） くらし安心部長 高田洋明 （事務局） 環境課長 西村幸浩 環境課長補佐 長谷川広幸
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	6人
議題又は協議事項	1 開会 2 審議事項 （1）西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 （素案）のパブリックコメントの意見につ いて 3 その他 4 閉会

会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> 西脇市環境審議会規則第3条第1項の規定により、会長が会議の議長となる。
議長	<p>○ 議事録署名人選出</p> <p>本日の議事録署名人に、会長が久米敏正委員、大崎夏子委員の2名を指名</p>
議長	<p>○ 会議の公開・非公開確認</p> <ul style="list-style-type: none"> 非公開内容が無いことを審議会において確認したため、本日の会議は公開とすることを決定
事務局	<p>○ 傍聴定員の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の傍聴希望者は6人であることを報告
	<p>2 審議事項</p> <p>(1) 西脇市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（素案）のパブリックコメントの意見について</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの概要、意見について、事務局から説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 事務局よりパブリックコメントの意見について説明
議長	<ul style="list-style-type: none"> 説明のあった内容について、委員の意見等を求める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 出された意見に対して、「西脇多可行政事務組合において、策定予定の新たなごみ処理の基本計画の中で検討していきます」という方針だが、ここに出た意見は、そこに反映されるのか。それともそこで検討するので、返事する場

	<p>所ではないと書いてあるのかが少し分からなかった。パブリックコメントは、市民から意見を聞く、反映させると思う。「違う場所で話し合う」では、出した意見はどうなるのか。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 7人の意見が出され、非常にありがたい。意見を大切にすべきだと思う。どのような扱いができるか分からないが、基本計画が今日これでよいとなった場合、事務組合で検討される時や答申の時に、パブリックコメントでこんな意見が出て、審議会ではこう対応を考えた、というのを基本計画の付録か何かで伝わるような形が取れないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントでは、市民の貴重な意見を賜った。 ごみ処理施設整備は、西脇市だけ、あるいは多可町だけで考えられない。1市1町の組織として、西脇多可行政事務組合で計画をつくり整備していくための組織立てをしており、そちらへ意見を示し、今回計画で示した見通し量等も踏まえ、どのような施設にできるかいう中の検討項目として考えていく。どこまで対応できるかは、今から検討していかなければならないため、反映できる・できないは、この場でお返事できる内容ではないことをご理解いただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 意見についても丁寧な返事や生かし方が大事である。違う組織で生かすとすれば、そちらにこれらの意見を橋渡しすることも大事だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> あとは西脇多可行政事務組合で協議をするということだが、次の組織は何人ほどで編成され、どういう方たちが参加するのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 組織についても西脇市単独でお答えできることではないので、事務組合にも確認し、時期をみてご説明したい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理計画づくりを検討してきた環境審議会は今日が最後の会合で、あとは市長へ答申するが、今日の意見によっては、修正、加筆はありえる。 来年度、再来年度、メンバーは多少替わるかもしれない

	<p>が、審議会自身は継続すると思う。第7章の「フォローアップ」では、審議会が計画の推進について審議することとなる。計画の進行管理について、計画の推進に当たる協議会が必要で、その組織をどう立ち上げるかは、後ほど議論したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの様式5-1(5)は、一般廃棄物処理計画にないものとして、「その他」としているがその対応として、先ほど事務局からの委員への回答として、後ほど事務組合で議論していくという話があった。 事務局の整理としては、意見は非常に貴重だが、再度この計画等を擦り合わせると、おおよその理解として「既に計画にある内容」という理解ができるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 12月3日にエコネットにしわきが開いた「ごみ減量シンポジウム」では、市民会館中ホールがほぼいっぱいになった。市民や市議会議員も参加していただき、当日行けない人は代わりの人に行ってもらうなど、非常に関心高く、来ていただけて本当によかったと思う。ごみ処理場が建て替わることも、非常に関心が高いので、私たちも真剣に考え、議論に参加し、いい形で進められたらと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントをどうしたかという内容もホームページなどで載せることが多いが、予定はどうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントは公に募集を掛けて得られたものなので、なんらかの形でその結果を出し、公開するのが妥当だ。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> お配りしているパブリックコメントに対する資料について、これでよいということであれば、後々ホームページで発表する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 4ページの右欄は、西脇多可行政事務組合が基本計画をつくるのだと思った。今回の一般廃棄物処理基本計画に、そのような記載があるのか。なければ書き込むか、どちらかに合わせる必要があるのではないか。 それからホームページ上で検討していく、まで書くのなら、見直す内容として、「廃熱を利用した発電等について

	<p>検討する」ぐらいは、書き足してもいいかと思う。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備計画の件は、本編、素案の63ページの(2)基本的方向性①に、施設整備計画の策定という項目を設け、「2018年、平成30年度をめどに施設整備計画を策定します」としている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西脇多可行政事務組合がつくるという記載があるが、パブリックコメントへの回答で載せるのなら、計画側にも記載がいたると思う。逆に、載せないのであればこのパブリックコメントの結果は、施設整備計画の中で検討していくという形にしないと表現が合わないと思う。また、ここに基本計画と書いてあるが、これも施設整備計画と表現が合っていない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素案の63ページの「新ごみ処理施設整備の在り方(1)これまでの経緯」の最後の部分、多可町と1市1町の枠組みで整備するという文言を使っている。これに合わせて、パブリックコメントの回答を調整させていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の本文を生かしてコメントの回答をする、という事でどうか。 ・ パブリックコメントの結果を、何らかの手段で公開をして欲しい。 ・ 一般的な自治体の場合、資源化に関わる多くの取組に関しても議論をして、ページをさいて計画を作っている。ごみの減量も地域の中での活動から、ごみが発生する大元から、場合によっては地域内外の生産現場から、経済の上流を含め、ごみが発生しないような仕組みに取り組んでいくようにしないと、地域だけでごみを減量することは限界的な状況が出てきている。 ・ 特にバイオマス発電等は、3、5年後、地域での廃棄物発電をどれぐらいするか、その量や熱量をどう高めるか。前回、兵庫県の方向性を示した。資源化利用の施設の在り方の議論は、検討委員会が始まるときに、できればこの審議会と擦り合わせをしながらいい形でドッキングして、減量なりリサイクル、資源化利用が進むような計画になってほしい。今の計画では、資源化利用がほとんど扱われてい

	<p>ないことは、おさえておくべきところである。</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントについて、了承いただけるか。 <p>(全員の賛同により、承認された)</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> 素案49ページ基本方針、ごみ減量・資源化を促す部分で、3Rが意識されて、という話がされている。12月3日のごみ減量シンポジウムの時、京都市の活動団体の講演で、ごみを減量するなら2Rでないとおかしいのではないかと聞いた。3Rと2Rの違いは「リサイクル(再生利用)」の有無である。せつかく減量を促進するなら、2Rを意識したほうがいいのではないか。これは少し皆さんに考えていただきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 審議会として、2Rや3Rの議論をしてきた中で、3Rでいいのではないかとされてきた。シンポジウムでの意見だけではなく、いろいろな他地域の計画を見ると、あまり3Rと言わなくなっている。優先順位の考え方から、ごみの減量や出口(資源化利用)に大きく力を入れ、以前の計画からより進んだ意味合いにおいて2Rが言われてきている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 3Rを2Rにすると、かなりのところに手を入れて、またパブリックコメントをすることが出てくるかもしれない。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 確かに手続き上は、そのような問題が絡んでしまう。今回の計画は第1期の新計画だが、他地域で早くから取り組んでいるところは、より高い次元での目標をつくろうということから、2Rに集約するような計画が生まれている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 3Rについては、だいぶ議論はしたのではないか。48ページの基本理念にある2Rが前提で、3つ目のRも議論になったのではないか。2Rのあとはリサイクルでごみを抑えようという意図があって、ここは相当こだわったのではないか。基本理念のところでは、まず2Rでやっていくということも表現されている。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクルという言葉が、世間の一般の人には一番定着している言葉だと思う。リデュース（発生抑制）という言葉は、ほとんどなじみがない。一般的に考えると、そういうところから見ていかないとダメだと思う。 ・ インターネットで調べたら、リサイクルでは環境負荷の低減に結び付かず、リデュースに力を入れないと、ごみの低減というのはできないとある。やっていることはあえて外さなくてもいい。なじみのある言葉は残しておきたい。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ まず基本として2Rの重要性を上げる、そのようなスタンスでご理解いただけたらと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次に第7章の「フォローアップ」を議論しておきたい。計画の推進、進行管理、何年か後に出てくる中間評価、中間見直しの展開といった流れから、フォローアップの体制づくりが大事である。 ・ 66ページの図にある西脇市環境審議会が中心母体としてあるという感じだが、環境分野というのは、必ずしも廃棄物、ごみ、リサイクル、資源だけではない。環境審議会の下で、一般廃棄物の計画の推進にあたるサブ的な推進協議会ができてもいいという観点でもとらえることができる。審議会とは違い、進行管理や評価の部分なので、実際にやっていくことが大事になる。事業者、商工会議所、回収業者、学校教育関係の方、そのような方々を一部含みながら、推進のための協議会をつくるイメージも出てきたりするが、いかがか。 ・ 計画には、いろいろな制度のもと、各種の仕組みづくりをして事に当たったらということで諸施策を挙げているが、それがどういうアクションなのかは書き込んでいない。例えば、「エコショップ認定制度」とあるが、本計画ではどのようなものとしてどのように運用していくかは、今後の議論を待たないといけない。それを市役所だけに任せてしまうのではなく、なんらかの地域を代表する方々による協議会的なもので、中身を詰めることが大事だと思う。58ページの①、②、③などもそうで、制度づくりや仕組みをどうするのか。これらを検討するものとしてアクションプラン（実行計画）がある。また、評価、見直しなど

委員	<p>が何年かすると当然課題化するののでその対応も考えておかないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年ごとに一般廃棄物処理計画の進ちよく具合を報告書にする。これをつくっておくと見直しや次期計画をつくる時に、過年度の客観的な状況が残っており議論しやすい。今後は、アクションプラン的な内容の詰めと年次的な報告が必要ではないか。 ・ この審議会の前半で行った環境基本計画の中間見直しの時にも申し上げたが、スタートから5年の間、環境報告書はできていない。環境審議会も計画策定後見直しで再結集するまで開かれていなかった。そのような経緯から見直しのための再会合で集まられた委員さん方で、計画に関わったことがあるのは2～3人だけで、再会合された方々は計画作成の頃のことをほとんどご存知でない状況だった。そのため、いくらか戻って議論し、学習しての計画の見直しとなった。そのようなことがないよう、一般廃棄物処理計画はスタートと同時に進め方や展開方法を考えていきたい。 ・ 3～4年すると後ほどつくられる施設整備計画と擦り合わせが必要になってくることもあるので、4月以降の立ち上がりが大事になる。どういう構成で、協議会を構成したらいいのか。委員が言われたシンポジウムでお越しになっていた京都市の団体の堀氏によると、あちらは小学校地区毎に協議会ができていて、それらをまとめた全体の協議会がある。そんな形で減量推進リサイクルに当たっている。そのシンポジウム会場にいた人は、協議会が必要だろうということは、認識していると思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみを減量する場合は、そこが一番問題である。特に事業者の方の巻き込みなどをやっていかないといけない。第三者機関では限界があると思う。 ・ 学校教育の場合は、教育委員会がカリキュラムをおさえてしまっていて、特に総合教育とか環境教育などは4月の段階で決まってしまう。ほとんど学校には入り込めなかった部分がある。アクションプランにおいて、かなり実行・実施ができること、それがチェックできる機能がなかったら何もできない。そういう協議会的な全体を含めた組織を持っていないとダメだと感じた。
----	---

議長	<ul style="list-style-type: none"> 58、60ページに挙がっている取組をどんなふうに進めていくのかという協議会の副次的なものが必要になってくると思う。審議会というよりも計画の推進に関わる協議会で、事業者も学校教育関係者も入りながら、制度の中身の具体化を図っていく。2年目はこれ、3年目はこれをとしないと、5年経っても全然動いていない、とばかりかねない。そういう意味で推進協議会が必要かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋削減協力店の拡大というところで、例えば「北はりま農産物直売所北はりま旬菜館」は、マイバッグ持参時にポイントは付かない。旬菜館は西脇市が力を入れていて、地元の農家さんがつくるもの、近くのものを買おうという場所である。私はマイバックを最近持っていくが、マイバックを持っている人がほとんどいない。マイバックを持っている人には1ポイントでも付けてくれると、皆さんよく持っていくと思う。この店はエコバッグを推進している店という、テレビ番組にあるようなシールを貼ってはどうかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> いいものは進め、商業活動の利益とのウインウインの関係ができればということだと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> コープこうべさんとはレジ袋削減という協定を平成19年に結んでいる。もっと市内のスーパーやコンビニエンスストアに広めていくべきではないかということで、できるだけ早い時期に取り組んでいきたいと考えている。その中に、旬菜館なども入ってくるかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 計画の展開について、アドバイスはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 計画やプランができ上がったら書棚にあるだけになりがちなので、そうならないのが第一だと思う。 計画期間が12年間と非常に長い。放っていたらだんだん後回しになり、あと2～3年しか残っていないとなると困る。初年度から12年間でどう実現していくのかを考えていくことはとても大切だと思う。計画の推進体制と進行管理のところにある体制の構築、情報の発信、共同で取り組む

	<p>機会と場をつくる、これをどう具体化するかが、これからの課題ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 計画の運用に必要なのは、やはり取組を一生懸命する人がいないと何も始まらないことである。ものすごくたくさんの方が待っている、それをやっていく人をどうつくっていくか、そのためにどういう仕組みでやっていくかがものすごく大切になるのではないかと思う。協議会をどうつくっていくのか、そこでどう具体的に仕事をこなしていくのかを考えていかないと、これは絵に描いた餅になるのではないか。 • いろいろな議論を積み重ねてここまで来たが、我々委員だけではなかなかできない。委員以外の多くの人たち、市民の皆さん、子どもたちや事業者など、いろいろな方々の協力がとても大事になってくる。そういう方々の協力をどのようにして得ていくのか早急に考え、協議会ができたなら動けるような状態をいかにつくっていくかが大切ではないか。もちろん行政当局のいろいろなアドバイス、ご支援ご指導なども当然必要だと思う。 • 神戸市では年次報告書というものを毎年つくり、市民にオープンにしている。1年でここ、2年目はここまで来たというデータを示し、計画の進捗を知らせている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • 途中経過はできるだけ客観的なデータを残しておき、それを公開し、市民もその進捗よく具合を確認する。進める手だての1つとして年次報告といったものが大事になってくる。何年かして振り返ったときに、客観的なデータがあれば、協議会等での議論もしやすい、見直しやすいということにもなる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 施策の内容は並列にやるのか。最初にどれをして次に何をするのかという形でないと、全部並列にはできないと思う。一番の重点はどれか、今は、今年はこの重点を置く、次は何をという重点のことがない。これもあれもしないといけないとなると、大変ではないかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> • ここまで行ったので、次はここに着手できるのではということなどを事務局任せにせず、審議会や推進協議会でもう少し議論して、制度をしっかりとつくるのが肝要。この

委員	<p>計画では、諸施策がフラットな状態で挙がっており、最初から全部やるように見えるというのは、そのとおりだと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度から全部しろと言われても、たぶん 100% 不可能だと思う。どういう順番でやっていくのか、段取りが大切だ。それをどこかで話し合い、つくっていかないと前に動かすことはできない。いいことはたくさん書いてあるが、来年すぐできるのかというと、たぶんできないと思う。来年度、その次の年は何をしようという順番付けをし、重点的に取り組まないといけないものは何か、その辺のことをやっていく作業がとても大切だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の29～34ページ辺りに、みどり園の計画の進捗が少し触れられている。こういうことをやっていかないと計画は実行できないと思う。この実施概要を調べるのにすごく時間がかかった。きちんと整理しておかないとなかなか見えてこない。また、評価をするにも分からない分野がたくさんある。例えば店頭回収などは全然データがない。市民が買い物に行くときに持っていくペットボトルやトレーが、どう処理されているかは分からない。それも把握ができるようなチェックをやっていく必要がある。 ・ それぞれ個々の進捗は、多くの方が集まった中で、実際に施策をやっている行政側でどのような課題にぶつかっているのか、それを突きあわせながら計画の年次的な進め方、場合によっては、これは少し置いておこうかということ協議していく。体制としては住民と事業者と行政が三位一体で、今一番抜けている事業者の方も入って、協議自体が継続、運営できればと思う。それは、早く立ち上げないと計画の実行にはならないし、初年度から進めていくことも大きな目標かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者には非常に難しいところもあるのは事実だ。事業者には、製造業、工業、商業、サービス業、いろいろな分野がある。この中で触れられているのは、商業関係が中心になると思うが、特に製造業等は、容器包装プラの法律がある。製造者の責任として、その排出量に応じた金銭的な負担もしている。これも踏まえ、事業者がどう関わるか。

議長	<ul style="list-style-type: none"> 「環境」というのは一つの大きなキーワードである。ステッカーを貼ることについても、商業的にどれだけメリットを感じられるか、その辺りの作戦を練り、巻き込んでいかないといけないと思う。 作戦を練ることはいいことだと思う。市民の消費生活やごみの出し方にも影響を与えるし、非常に重要なファクターである事業者（製造業など）にも影響を与えるかもしれない。その方々と、すぐでなくても、意見交換をしながらできるところから連携をしていくことは大事だという指摘をいただいた。 ここまでの議論の中で、第7章の進行管理はぜひとも必要だという意見がほとんどであったと理解している。事務局にもお世話をしていただき、4月以降次なるステップとして推進協議会の組織づくりをお願いし、計画がどんどん進行していくような手だてを取っていただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> この計画は、本当に立派にでき上がっていると思う。これだけの量の資料で、完ぺきなことはあり得ない。そこは手直しをして、いかに推進していくか、ということが一番の課題だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 大変立派な文言で作成できていると思う。これで決を採っていただいたらどうか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画本文の文言等の修正はなかったということもご了解をいただけるか。また見直しすることがあれば一任いただけるか。 <p>(全員の賛同により、承認された)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、私と副会長で市長に答申することについて、了解いただけるか。 <p>(全員の賛同により、承認された)</p>
議長	<ul style="list-style-type: none"> この計画のお披露目、説明、啓発は主に行政の部分と思うが、委員の皆さん方も地域、組織に帰られて、計画につ

事務局	<p>いてお話しただけならありがたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政の対応について少し紹介いただきたい。 まずは広報、紙媒体で市民に知らせようと考えている。あとは市のホームページ、毎年やっているごみ分別の説明会、保健衛生推進委員会での地区別の会議がある。その中で、まず各地区の委員に説明して理解いただき、各自治会へ伝えていただくことを基本に、市民、事業者、学校等とも調整をしながら進めていけたらと考えている。 貴重な意見として、このような推進が一番大事だというのは認識しているので、まずはそういうところから周知したいと考えている。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な取組を話していただいた部分で、市民に広まっていくイメージは持てたと思う。その他、こんな方法やこんな取組はどうかなど、意見やアイデア、気付きなどがあれば、環境課に言っていただければと思う。自分の地区でこのような集まりがあるが、どうだろうかという話でもいいと思う。 概要版に関してもよいか。単純に全戸配布がいいということではなく、有効な場所や相手、イベントなどをうまく利用しながら、お披露目していくことが大事だと思う。本体が大きいので、概要版は活用できると評価をいただければ、使い方がいろいろ考えられてくるかと思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> それでは、パブリックコメント、本体、これからの推進体制、概要版、これら全体を認めていただいたので、答申を1月22日にさせていただきます。
委員	<ul style="list-style-type: none"> これからいろいろなところに出向き、説明をされるという話だが、説明する側の立場としてパワーポイントをつくれれば説明がしやすいのではないか。そうすれば別々の人でも基本的な説明の内容が統一できると思う。
議長	<ul style="list-style-type: none"> 昨年の中ごろから審議会を開催し、何回も議論してきた。勉強会もあり、このような計画ができ上がった。本当によくご協力いただき、感謝申し上げます。

<p>事務局</p> <p>くらし 安心部 長</p>	<p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布資料の「ごみ減量アイデア受賞作品一覧」について、アイデアの優秀作品の審査に協力いただき、お礼申し上げます。審査により金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作7点を選出した。これらは、広報誌、ホームページに掲載したほか、公共施設で展示をしている。さまざまなイベントで啓発用に活用したい。 <p>4 閉会</p> <p>○ くらし安心部長より閉会のあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理の基本計画は、平成28年度は平成29年2月7日を第1回目として、平成29年度は第4回、都合5回の環境審議会でご審議をいただいた。また、合わせて勉強会を3回行っていただいた。熱心な審議のおかげをもって、内容の濃い計画に仕上がったのではないかと思います。 本計画は西脇市が取り組んでいく、ごみ処理について大きな方向性を決定する重要な計画である。貴重なご意見をいただいたことについて、改めてお礼を申し上げたい。 今後ともご支援、ご教授を賜りますよう、お願いを申し上げます。閉会のあいさつとさせていただきます。
問 合 せ 先	くらし安心部環境課